



70名が受講した開講式の模様

矢沢明朗大学は、矢沢地域振興会生涯学習事業の中核を成しています。
これまでは高齢者を対象として開催していましたが、今年度からは年齢を問わず誰でも

明朗大学開講式
挨拶の中島会長

「明老」から「明朗」へ

矢沢地域振興会 会長 中島 健次

も自由に参加できる形に改めました。生涯学習の本旨は豊かな人生を送るため行いうあらゆる学習のことを言います。大学ではこれまで宮沢賢治をはじめ矢沢ゆかりの先人の講座や地域の歴史、人生講話、健康、防災など幅広い分野の学習を行ってきました。途中入学も歓迎します。さらに多くの皆さんの参加をお待ちしています。

講師と聴講生が一体となつての
楽しい講座

矢沢地域情報誌

やまぼろひ

No. **49**
2024年 9月 1日

mail : yashinkai025@gmail.com

発行/矢沢地域振興会(矢沢振興センター内 5480) 印刷/トパーン印刷(株)

7月講座はえふえむ花巻の落合昭彦さんの
「岩手大好きアナの特別授業」6月講座は花巻移住の塩野夕子さんの
「宮沢賢治を愉しむ花巻暮らし」開講式(5月21日)の記念講演は
福々亭ナミ子さんの「脳トレ漫談」

わが自治会 活動の紹介

島区民会会長 高橋 秀造



島区民会の発足は、昭和23年頃と
思われます。

す。戦後のあの混乱の中で、一日も早い地区の復興と当面する具体的な問題の解決を図り、更には地区民の親睦と福祉の向上を願つての発足です。以来地区民一体となつて、地域づくりを力を合わせ現在の体制が築かれております。
現在の区民会の主だった事業を紹介させていただきます。
●島区民会体育祭
毎年4月29日に開催。8部落から老若男女が一堂に会し親睦と交流を図る絶好の場で、今年で第48回を迎えた区民会の最も重要な事業の一つであります。
●島バイパス草刈り業務
島バイパスが令和2年3月に開通。3年度に花巻土木センターの「住民協働の草刈業務委託」に参加。6月と8月の年2回、8部落から各8、10名の協力を頂き実施。単なる道路脇の草刈りという枠組みを超え、道路に対する美化

100名を超える地区民
参加の冬季講座

意識、共同作業による連帯意識を育み、主体的な地域活動の広がりを期待して実施。
●島区民会クラウンドゴルフ大会
地域のスポーツの普及と住民の親睦を目的に旧果樹園を借り年2回実施、通算25回目となります。
●島の将来をかたる会
全国的に少子高齢化が進み、様々な問題が起きており、ここ島地区も例外ではありません。地域の現状を認識し、同時に住み良い地域づくりに何をすべきかを皆で考えようと、各公民館長さんを中心に集まって話し合い、課題に取り組んで住み良い地域づくりに努めております。
その他、新年交賀会、冬季講座、9月には島地区敬老会を開催予定。
令和5年10月に島地区生活サポーターの会を設立。更なる充実を図っていくことが今後の重要課題となっております。
地区民が、協力し合い、住み良い地域づくりに努めてまいります。

自然探訪教室 「浄土ヶ浜 潮風トレイル」

7月29日(月)、矢沢地域振興会主催の令和6年度第2回自然探訪教室が開催されました。今回は「浄土ヶ浜潮風トレイル」。青森県八戸市から福島県相馬市までの約1、000kmの潮風トレイルのうち浄土ヶ浜周辺コース。一般参加者は19名。講師は花巻市生涯学習講師の福盛田弘さん。スタッフを含め総勢23名。

雨が心配されていましたが、傘を広げたのは僅かな時間。まずまずの天候でした。浄土ヶ浜第2駐車場から階段を下りていくと目の前にはあの景勝「浄土ヶ浜」。穏やかな海と白い岩と松のコントラストが映える。いつ見ても心が癒されます。

遊歩道を歩き御台場展望台へ。何度も浄土ヶ浜を訪ねたがこの展望台に上がったのは初めて。この展望台からいつもと違う角度、しかも高い所から眺望する浄土ヶ浜もまた素晴らしく、お勧めしたい展望台です。

次の館ヶ崎展望台に移動途中、「今、宮古藤原埠頭に日本丸が入港していて本日の14時に出航するようだ」との情報が入ったことから、館ヶ崎展望台への散策を短めに切り上げ、急遽、藤原埠頭に立ち寄ることに。藤原埠頭に着くとあの帆船で有名な日本丸が。帆を張る美しい姿を想像していたが、14時になると「ボー、ボー、ボー」と低音の汽笛を鳴らしながら(ありがたいの意味らしい)少しづつ岸を離れて行くシーンは感動的であった。

今回の自然探訪教室は、潮風トレイルとして浄土ヶ浜を散策し、しかも、日本丸というサプライズもあり、参加者



の皆さんはニコニコ顔。心身ともにリフレッシュでき、またまた健康寿命が延びたようでした。(同行記：佐藤信二)



宮古藤原埠頭に日本丸入港

「夏休みキッズわくわく 充実スクール」

8月1日、花巻市社会福祉協議会矢沢支部と共催で、夏休みキッズわくわくスクールが矢沢振興センターで開催さ



れました。当日は生産技術研究所センター花巻サテライトの職員の皆さんを講師に招き、矢沢小学校の3、6年生の児童30名を対象に行われました。

今回は「光の性質を学ぼう!」〜エレクトロ万華鏡〜をテーマに電気じかけの万華鏡を作りながら、光の性質「回折」について学びました。

底の中心に小さな穴をあけた紙コップを4つ組み合わせて作ります。途中、電池ボックスやLEDを取り付けたり、虹色フィルムを貼り付けたりと細かい作業もありましたが、みんな集中して取り組んでいました。電池を入れてLEDを光らせると、ピカピカ光る万華鏡の出来上がりです。紙コップを回すと模様が変わり、「きれい!!」という歓声があちこちから上がっていました。その後、ミニゲームではお菓子釣りゲームを行い、キッズわくわくスクールは終了しました。

初めて見る電気じかけの万華鏡に感動した様子の子ども達からは「夏休みの自由研究にしようかな」などの感想が

聞かれました。短い時間でしたが充実した時間になったようです。

次回は冬休みを予定しています。多くの子ども達や保護者の皆さんの参加をお待ちしています!! (体験記：押切和美)



小学校コーナー

成長する喜びを感じて

矢沢小学校

PTA 小原 滋枝ふさえ

吹く風に、熱が帯びる季節となりました。つい先日娘が若葉薫る修学旅行から帰ってきたばかりと思っていたのですが、この暑さを感じると毎日の時間はやすさを痛感しています。

子ども達の成長もあっという間で忙殺の日々の中ふと立ち止まると成長している姿を感じます。子ども達自身で料理などの家事でできることが増えたことや、身の回りの出来事、世間一般のニュースなどに対する考えや意見を私と論じ合ったりする中で子ども達のアイデンティティーを垣間見る機会が増えてきました。

その一方で、都合のいい事しか言わなかったり、しょうもないことを隠したり。良くも悪くも大人への階段を着々と上っているようです。

子どもを育てることは全くもってきれいだいごとはなく毎日容赦なく動く時計の針と闘

いながら、ただただやり過ごしてしまいう自分にもどかしさを感じます。それでも子ども達の成長を見守り支えてくださる学校の先生方、周りの方々に感謝の気持ちを忘れることもなく日々過ごしていければと思います。



うみの杜水族館にて（仙台市）



楽しい修学旅行（ベニーランド）

中学校コーナー

令和6年度二学期 大会等の結果

7月7日に県吹奏楽コンクール中央地区大会、13～15日に岩手県中学校総合体育大会が行われました。県内各地で熱戦を繰り広げ、健闘しました。結果は以下のとおりです。

◆吹奏楽部 小編成の部 銅賞



アニメージュとジブリ展オープニングセレモニー出演
保護者のみなさんと童話村ステージにて

◆野球地域クラブ花巻BBC

（宮古市、山田町、岩泉町）

2回戦敗退

◆男子ソフトテニス（盛岡市）

佐藤・高橋 1回戦敗退

◆男子バドミントン（奥州市）

【シングルス】

渡邊颯介 club a*p所属 2回戦敗退

◆女子バドミントン（奥州市）

【団体】

第3代表で東北大会出場

【シングルス】

野呂奈々花 ベスト16

【ダブルス】

菅原巳雅・野呂萌々花 第2位

第2代表で東北大会出場

高橋野乃・藤田にこ ベスト16

◆柔道（盛岡市）

【男子団体】 1回戦敗退

【女子団体】 第3位

【男子個人】

50 kg級 佐藤陽人 初戦敗退

90 kg級 押切空輝 初戦敗退

2回戦敗退 ベスト8

90 kg超級 姉薺遙人

第3位で東北大会出場

【女子個人】

40 kg級 菅原純玲 初戦敗退

44 kg級 小田島希愛 第3位

52 kg級 高橋亜唯羅 ベスト8

57 kg級 斎藤 悠 第3位

70 kg超級 菅原侑里 第3位

◆ソフトボール（花巻市）

優勝 東北大会出場



ソフトボール県優勝
（矢沢・南城中合同チーム）

◆水泳競技（盛岡市）

男子200 m バタフライ 押切登煌

第4位 東北大会出場

男子100 m バタフライ 押切登煌

第6位



わが同好会の紹介②
ハッピーTS(卓球)

責任者 佐藤 ミツ



私たちの卓球サークルは、集い始めてから10年ほど。初めは日曜日の午前中でしたが現在は月曜日の午後1時から2時間体を動かしながら楽しんでます。会の名前のとおりハッピーな気持ちの卓球サークル。温泉卓球を思い出しながら見学や仲間入りも大歓迎です。



第4分団第一部

見事優勝!!



花巻市消防団第4分団第一部(安野・中野)は、岩手県消防協会花巻地区支部ポンプ操法競技会において見事優勝を果たしました。

8月4日に開かれた第43回岩手県大会に花巻地区支部を代表して出場し6位入賞と見事な健闘を見せました。また、小型ポンプ操法の部で2番員の中宿雅之さんが優秀選手賞に輝きました。



第4分団第一部の皆さんの雄姿

私のひとこと

矢沢中学校

石沢 昂大



僕が中学校野球を通して思い出に残っていること。

一つ目は2年生の時の市・県中総体です。軟式野球部が7名で硬式の人を出さなきゃいけない状況で出場した大会でした。そして準決勝で敗れ3位決定戦で東和中と戦いタイブレークで勝利して県大会に出場できました。

花巻市第3代表として出場した県大会では、合計3回勝ちベスト4でした。大好きな先輩たちとここまで勝ち抜けて最高の思い出になりました。

二つ目は、県選抜です。24人しか選ばれないのに選考されたのは自分の力を認めてもらえた感じがして嬉しかったです。

選抜では、野球だけでは



なく日常生活での常識なども教わりました。一番心に留まってる言葉は、「自分の軸じやなく、チームの軸で回れ」です。まだ周りのことをあまり見て行動できないのを気づかせてもらいました。練習会では、自チームではできないようなレベルの高く質の良い練習ができました。練習試合などでも同様で相手チームのレベルも高くとても良い環境で野球をやれました。

このように、僕の中学野球は、色々な状況や環境で野球を経験したことは今後役に立つと思うのでとても良い体験ができました。

【編集後記】

令和6年度からやまぼうしの編集委員を務めることになりました幸田の多田です。読み書きはとうの昔に卒業して、すっかり忘れていますが、よろしく願います。

さて、幸田地区にこの春良い出来事がありました。それは、幸田公民館の建て替えが決まったことです。平成21年から建設資金の積み立てを始めて16年目、地区民からは「いつ建つのか?」「生きていっているうちに見たい」等、長い間の念願がやっと叶うことになりました。初めてコミュニティセンター助成事業に申請したところ見事に認定され、補助金交付を受けることになりました。まさに今、建設に向かって工事が進んでおり、来年2月の完成が楽しみです。

自治会活動及び子供会行事や敬老会、そして幸田神楽の練習及び神楽鑑賞会等、新しい公民館を中心にして、幸田地区民の交流と活動が益々盛んになることを期待します。近くにお越しの際は、是非足を運んでみてください。

(編集委員 多田 繁)



旧幸田公民館